



来院者らが「膝の痛み」などについて学んだ  
製鉄記念室蘭病院の健康セミナー

## 膝への負担和らげて

製鉄記念室蘭病院でセミナー

### 変形性関節症を学ぶ

製鉄記念室蘭病院

(松本高雪院長)の「第8回市民健康セミナー」がこのほど、室蘭市知利別町の同院で開かれ、来院者らは膝の痛みや治療法などに関する解説に、耳を傾けていた。

セミナーには約14

0人が参加。総村俊之整形外科医長が、「膝の痛みと治療」変形性膝関節症を中心に」をテーマに解説した。総村医長はまず①変形性関節症や半月板損傷などの「運動時痛」②関節リウマチや痛風などの「安静時痛」の膝の痛みの違いを説明した。

また、変形性関節症の場合は、「正座を避ける、洋式トイレの利用、体重の減量、重い荷物を持たないなど、日常生活に注意して」と強調。「進行速度や変形の程度は、患者さんによって異なる。保存的治療や手術などの対応もさまざま。膝痛みに困っている人は、ぜひ一度受診して」と呼び掛けた。

(松岡秀宜)